

崎浦6号大桑町線（涌波坂）道路改良工事の概要

本路線の概要

本路線は金沢東部地区に位置し、「涌波坂」として親しまれている坂道で、小立野台地を縦断する県道小原・土清水線および主要地方道金沢湯涌・福光線と、犀川大通りを結ぶ、数少ないアクセス道路である。周辺には南小立野小学校や辰巳丘高校などの文教施設に代表される公共公益施設が多数存在し、本路線下には小立野台地を抜ける都市計画道路（涌波トンネル）が貫通している。また、交通量の増加に伴い、県道小原・土清水線では道路改良が進められている。

従来から、本路線は小立野台地地区と涌波地区相互のアクセス道路と位置付けられているが、車道幅員が狭小であったため、一方通行（涌波地区から小立野台地）規制がされていた。そのため、小立野台地の住宅地区から涌波地区に立地する公共施設および都市計画道路（涌波トンネル）へのアクセスが困難となっていたため、本路線のアクセス道路としての機能強化が望まれていた。

本路線の改良工事の完成によって、小立野地区周辺から涌波地区および都市計画道路鈴見新庄線へのアクセスが可能となり、地区相互の利便性向上により、同地区の更なる発展が期待される。

工法の概要

本路線は、従来からかなり急峻な斜面に築造されており、拡幅スペースもきわめて狭小で、さらには本路線の中ほどに金沢を代表する用水、辰巳用水およびその散策路が通過しており、景観の考慮や生態系への配慮が求められたため、鉄筋挿入等での現地盤の補強を行いつつ、拡幅盛土材には軽量かつ自立性に優れた現場発泡ウレタン軽量盛土を採用するとともに、急勾配での安定した法面と植生を実現する連続繊維補強土工により拡幅盛土部表面の形成を行い、周辺環境に調和した道路を目指した。

記

◇設計条件

- ・道路規格 第3種第4級
- ・設計速度 30 km/h
- ・設計CBR 3%
- ・交通量区分 L交通
- ・設計対象車両 小型自動車

◇事業年度 H15年度～H17年度繰り越し（完成18年8月10日）

◇総事業費 348,000千円（H17年度；162,000千円）

◇概要 延長L=250m

◆改良前

幅員 車道W=3.0m 歩道W=1.5m
道路縦断勾配 i=10%

◆改良後

幅員 車道W=6.0m 歩道W=2.0m
道路縦断勾配 i=9.9%

◇事業主体 金沢市 道路建設課

◇工事箇所 金沢市涌波4丁目・大桑町地内

◇工事名 崎浦6号大桑町線道路改良工事

H17年度 工事内容

- ・擁壁工（表面化粧仕上げ） L=54m
- ・自由勾配側溝工 L=313m
- ・ボックスカルバート工（辰巳用水用、小動物移動通路用ほか） L=52m
- ・消雪配管工（辰巳用水の水を使用） L=245m
- ・軽量盛土工（発泡ウレタン） V=1020m³
- ・連続繊維補強土工 A=474m²
- ・補強鉄筋工 N=234本
- ・舗装工 A=1210m²

位置図



完成状況

着工前



完成



完成状況

着工前



完成



完成状況

着工前



完成





完成状況

着工前



完成

